

令和5年度事業計画

*親子のふれあいの場づくりと、

子育てに悩む親の支援に関する事業*

<p>1 もんぜんぷら座こども広場</p>	
<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況を鑑み、保育・幼稚園課と開館、利用方法等協議し運営する。 コロナ禍で孤立した子育てを余儀なくされていた子どもやその保護者に対して、待つだけでなく届ける支援の工夫を行っていく。母親世代が多く利用しているインスタグラム等デジタルツールを活用し、タイムリーな情報発信を行い、支援につなげたい。</p> <p>I 実施事業</p> <p>1 子育て中の親とこどもの交流に関する事業</p> <p>(ア) 手形をとりませんか？ (イ) ねんねの会 (ウ) 年齢別のおしゃべり会</p> <p>上記の他、午前11時、午後2時半に「手あそび」や「うた」「体を使ったあそび」などを行う。</p> <p>2 子育てに関する相談</p> <p>ア 子育てコンシェルジュ 月・火・木・金・土</p> <p>イ おしゃべり会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢別おしゃべり会 (0, 1, 2～3歳児) ・ はじめて「ながの」ウェルカム交流会 7/18、9/28、11/6、1/16、3/13 <p>ウ 専門家相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「こどものこころとからだの相談室」小児科医 (第1木) ・ 「歯科相談」 歯科医師 月1回不定期 ・ 「お食事なんでも相談」栄養士1名 (第1, 3木) ・ 「妊娠・出産・母乳相談」助産師3名 (第3金) ・ 「お母さんの心の相談室」ながの子どもを虐待から守る会 (第2土) ・ 「ママのための心の健康相談」臨床心理士 (第3月) ・ 「療育相談」 療育コーディネーター 月1回 ・ 「就業相談」 就業相談支援員 (第3火) <p>エ 子育て相談 毎日</p> <p>3 子育てグループ等の育成</p> <p>ア 子育てグループへの遊びなどの指導者派遣</p>	<p>毎月約1週間 毎月2回 毎月2回 毎月各1回</p> <p>10:00～18:00</p> <p>毎月 年5回</p> <p>14時～16時 10:10～16:30 13:30～15:00 13:00～16:00 10:00～12:00 10:00～12:00 10:00～12:00</p> <p>毎日</p>

	<p>東部保健センター「あそびましょう」 第三地区「サンサン広場」 第2木曜 浅川社会福祉協議会「アップルキッズ」 北部保健センター「ふたご・みつご広場」第1月 第1地区「子育てサロン」年3回</p> <p>イ 子育てグループへの活動スペースの提供</p> <p>ウ 子育てグループの紹介 「長野市子育て支援ガイドブック」をホール内に設置すると共に問い合わせに対しては随時応える。</p> <p>エ 子育てグループ代表者会議</p> <p>4 子育てに関する情報の提供</p> <p>ア 子育て情報の掲示板の活用 ・利用者からの情報や子育てグループが製作している情報誌等を設置</p> <p>イ 子育てに関するイベント、団体の情報の掲示 ・イベント情報の掲示板を活用し、長野市内にとどまらず子育てに関するNPOグループの情報を掲示。</p> <p>5 あそびに関する指導及び助言 子育て中の親とこどもの交流に関する事業に含む</p> <p>6 子育て情報誌の発行 子育て情報誌「じゃん・けん・ぽん」の発行（隔月）6回発行</p> <p>7 子育て講座、イベントの開催</p> <p>ア 子育て講座 ・ 子育てお助けセミナー 園選びについて、熱中症について、感染症について、 事故と安全について、乳幼児とアレルギー等 ・ ノーバディズ・パーフェクト講座 1コース 6日間 ・ 乳幼児の救急講習会 ・ 防災講習会（乳幼児と災害） ・ わんぱく散髪講座 ・ 食育講習会</p> <p>イ ながのわくわくパパ講座 ・ ママと一緒に子育てを楽しむために、主体的に子育てに関わるいきいきとしたパパの実現を目指す</p> <p>ウ イベント ・ 相談デー（親と子の歯のつどい、歯科相談、小児科相談、 助産師相談、栄養士相談、療育相談、コンシェルジュ相談等） ・ じゃん・けん・ぽんバースデー ・ 七夕まつり ・ ミニミニ運動会 ・ クリスマス会</p>	<p>随時 月2回 月1回 不定期年数回 月1回 月1回</p> <p>2月</p> <p>隔月</p> <p>年6回</p> <p>5月、9月 年1回 年1回 6月、1月 年2回</p> <p>全5回</p> <p>6月1日 6月1日</p>
--	---	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ クリスマスコンサート ・ 豆まき大会 ・ 冬のあそび広場 ・ おひなまつり <p>8 ホームスタート事業 妊娠期～6歳未満の子どものいる家庭へ途切れのない支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第9回ホームビジター養成講座 <ul style="list-style-type: none"> 養成講座説明会 4月23日 養成講座 5月26日から7月7日（毎週木曜日） ・ ホームビジタースキルアップ講座・交流会 5/12（木）、7/25（月）、11/17（木）、1/20（金）、3/10（金） ・ ホームスタート産前産後支援ホームビジター養成講座 （対象者が5名を超えたら） ・ 運営委員会 ・ 広報活動 <p>9 利用者支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てコンシェルジュを配置し、子育て支援の情報提供を行う。 月・火・木・金・土 <p>10 その他子育て支援に関すること</p> <p>ア 世代間交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 折り紙講座（シニア講師） 第1、3木 <p>イ ボランティアの受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ばぶちゃんからのおはなし・わらべうた（語り） 第4水 ・ ベビーマッサージ 第2日 ・ おもちゃ病院の開催 第3土 ・ みんなで歌おう（長野少年少女合唱団） 第4土 ・ 絵本の読み聞かせ（おはなしボランティア） 隔月 ・ 交通安全のおはなし 偶数月 第2水 ・ マザーグースの手遊び 奇数月 第2水 ・ 世界の言葉（ヒッポファミリークラブ） ・ ミニ・コンサート <p>* ボランティアの受け入れ サマーチャレンジボランティア、インターシップ、地域まるごとキャンパス等</p> <p>ウ 出張広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あそびましょう（東部保健センター） じゃん・けん・ぼんになかなか来られない地域、東部保健センターに出向き、「あそびましょう」を運営する。 ・ ゆりかごの会 権堂イーストプラザ コミュニティルーム 大勢の人のいる所に来られないお母さんのための広場を開催 	<p>4月23日 5月26日～ 7月7日</p> <p>年6回</p> <p>2日 年2回 随時</p> <p>年240日</p> <p>月2回</p> <p>月1回 月1回 月1回 年10回 年12回 年6回 年6回 年4回</p> <p>随時</p> <p>月2回木曜日 第2火曜日</p>
--	--	---

	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サンサン広場（第3地区）、 ・ アップルキッズ(浅川)、はじめの一步サロン(第2地区)に出向き、地域の方と広場を運営する。 ・ 第1地区子育てサロン 地域に出向き、サロンを運営する。 ・ ふたご・みつご広場（北部保健センター） 長野市保健所との協働事業、北部保健センターと共催、多胎児親子向けの遊びの広場を運営する。 <p>エ 子育て中のお母さんのためのリフレッシュ講座</p> <p>(ア) リフレッシュ講座（自主事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スクラップブックング ・ 食育講座 <p>(イ) ミニリフレッシュ講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 虫よけスプレーづくり、メイク講座等 <p>II その他</p> <p>ア 教育機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長野県立大学こども学科と広場を開催 ・ 長野看護専門学校臨地実習 ・ 清泉女学院大学看護学部多職種連携と地域フィールドワーク ・ 長野清泉女学院短期大学二方ゼミ ・ 佐久大学短期大学部福祉学科子ども福祉専攻 現地実習 ・ ながの協働ねっと地域まるごとキャンパス (短期フィールドワーク) <p>イ もんぜんぷら座防災訓練に参加</p> <p>ウ 視察、取材に協力</p>	<p>第2木曜日 年3～4回</p> <p>年3回 第1月曜日</p> <p>年1回 年1回</p> <p>4回</p> <p>年1回（12名） 年2回</p> <p>11日間 年2回</p>
2	長野市ファミリー・サポートセンター	
	<p>長野市内における育児の援助を受けたい者（依頼会員）と育児の援助を提供するもの（提供会員）を会員として登録し、会員間による育児の相互援助活動を支援し、仕事と育児を両立できる環境を整備し、地域の子育て支援基盤を整備することにより、保護者等の福祉の増進、及びこどもの健やかな育ちを促進する。</p> <p>実施事業</p> <p>1 入会説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員登録のために月1回開催 ・ 提供会員向け入会説明会 ・ 窓口入会 <p>2 講習会</p> <p>ア 提供会員・両方会員養成講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 援助活動をするために、知識等を習得する講習会（各年2回） 基礎編 4日間 応用編 2日間 	<p>12回 年2回 随時</p> <p>7月11日～14日、 1月24日～27日 9月14日～15日</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・提供会員・両方会員研修会・懇談会 リスクマネジメント 9/2、12/9 心肺蘇生法 年1回 3 会員交流・研修会 全体研修会、ふぁみさぼひろばを開催する 2回 4 ファミサポだよりの発行 年2回 5 日常業務について <ul style="list-style-type: none"> ・入会手続き ・依頼会員のサポート依頼を受け、提供会員を紹介しコーディネート ・提供会員から送られてくる援助提供書の管理、情報処理 ・会員情報の管理 ・3か月毎に保育・幼稚園課への会員状況と活動状況の報告 ・広報活動・住民自治協議会等に出向 他 随時 	<p>2月8日～9日</p> <p>9月30日 11月</p> <p>4月、9月</p>
3 ホームスタート事業		
	<p>家庭内での保育者の孤立感の解消、親の心身の安定を高める、親の子育てへの意欲を高める、親の子育てスキルの学習、問題の発見・モニタリングの目的のため、ホームスタートジャパンの手法を取り入れ、訪問型子育て支援事業「ホームスタート・ながのこどもの城」を運営する。</p> <p>対象：妊娠期～6歳未満の子どものいる家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第10回ホームビジター養成講座 養成講座説明会 養成講座 ・ホームビジタースキルアップ講座・交流会 5/15(月)、7/24(月)、9/14(木)、11/16(金)、1/19(金)、3/8(金) ・ホームスタート産前産後支援ホームビジター養成講座 (対象者が5名を超えたら) ・運営委員会 年2回 ・広報活動 ● ホームスタート関東エリア交流会・エリア会議 (in 栃木) 7月8日(土) PM 交流研修(栃木)・エリア会議・懇親会 7月9日(日) AM HSJ研修 	<p>5月25日～ 7月6日(毎週 木)全7日</p> <p>年6回</p> <p>2月頃2日</p> <p>年2回 随時</p>
新 4 こども第三の居場所事業 (日本財団子ども第三の居場所事業)		
	<p>経済状況や家庭環境に課題を抱える小学生(主に小学校低学年を対象とするが、小学校高学年や中高生の受け入れも可)を中心とする子どもを対象に学習支援に加えて、基本的な生活習慣を身につけるための支援等を行う。</p> <p>1 場所 もんぜんぷら座1階 「こども第三の居場所ながのこどもわくわくカフェ」</p>	

2	<p>開催期日 月～金／15：00～20：00 ※第1・3水曜日定休 第1・3日曜日／10：00～15：00</p>	
3	<p>内容 学習支援、食事支援、生活支援（居場所の提供、生活相談） ☆日曜日には、子どもたちに様々な体験をしてもらえる機会を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学び屋（第1日曜日） 地域の方が先生になって、学校とは違った学びを深めます（親子で学べるテーマも！） ・ ワークショップ（第3日曜日） 工作体験、化学実験、プログラミング体験など 	

新 5 災害時支援事業（緊急時子ども支援ネットワーク事業）

	<p>令和元年度台風19号災害支援を、発災直後から避難所に子どもの場所を設け、閉鎖されるまで継続してきた。その後休眠預金を活用し、被災した子どもと保護者への支援を3年間継続してきた。</p> <p>それらの体験から緊急時の子ども支援活動が効果的に行われるために、緊急時子ども支援ネットワークの必要性を訴え、2月12日に長野市における緊急時子ども支援ネットワークが設立された。</p> <p>ネットワーク事務局を担い、地域や分野、セクターを超えた関係者の連携を促進するため、緊急時の子ども支援について、必要最低限のガイドラインを策定する。</p> <p>事業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急時の子ども支援ガイドライン・コーディネーションガイドラインの策定と周知 2. ネットワーク拡大に向けた活動（交流会等） 3. スキルアップのための活動（学習会、子育て世帯向け防災講座、災害支援訓練、子ども防災ワークショップ） 4. 緊急時の子ども支援コーディネーターの育成 	
--	---	--

こどもの心とからだの相談事業

1 こどもの心とからだの相談室		
1	日時：毎月 第1木曜日 14時から16時	
2	会場：もんぜんぷら座こども広場活動室	

あそび、体験に関する事業

1 食育講座	
1	会場：じゃん・けん・ぼんホール こども第三の居場所 ながのこどもわくわくカフェ 2 参加者：子育て中の保護者、カフェ参加の子ども 3 内容：季節に合わせた食文化を親子で楽しみながら体験する。
2 冬のあそび広場2024	
	もんぜんぶら座で開催されるフェスタもんぷら2024と同時開催する。 1 場所：じゃん・けん・ぼん 2 日時：令和6年2月3, 4日

こどもの活動に取り組む人材育成事業

1 中高生の子育て理解講座の開催	
1	会場：もんぜんぶら座 2 サマーチャレンジボランティア期間3日間の中で開催する。
2 地域まるごとキャンパスへの参加	
	高校生以上の学生に、地域・社会づくりの担い手となりうる「市民性」を育むことをねらいとした活動に、短期フィールドとして参加。 こども広場 じゃん・けん・ぼん 10名 延べ30日 ながのこどもわくわくカフェ 6名 延べ20日
3 ユースリーチへの参加	
	地域に愛着を持ち、地域のために活躍する若手の人材育成を目指して、長野市周辺の高校生及び大学生を対象に、地域課題の解決に向けて活動する学生のコミュニティ「youth reach」に活動フィールドとして参加。 8名

こどもの文化芸術に関する事業

1 こどものアートプログラム	
	秋ころ実施の予定

子育て情報誌の交流促進や、子育て情報誌の発行事業

1 ホームページによる情報提供	
<p>日々情報を更新。また、昨年引き続き「じゃん・けん・ぽん日記（ブログ）コーナー」を設け、スタッフが交代で毎日更新する。</p> <p>ホームページをリニューアル 4月</p> <p>Face book への投稿</p> <p>インスタグラムの開設</p>	
2 週刊長野等への情報提供	
<p>週刊ながのへじゃん・けん・ぽん便り「子どもも親も「いきいき」として、理事交代で、月1回子育て・子育て支援の情報の提供をする。12回</p> <p>モナミ、ほっとパル等へ広場の開催内容の情報提供</p>	毎月

***子育てに関わる各種グループや、
機関団体との交流促進事業***

教育機関との連携	
新 1 清泉女学院短期大学非常勤講師派遣事業 (清泉女学院大学・短期大学との連携事業)	
<p>清泉女学院短期大学幼児教育学科「子育て支援」授業に非常勤講師としてスタッフ4名を派遣する。また、見学実習の場としてこども広場を提供する。</p> <p>1 科目 子育て支援 30人ずつ3回 (2年生)</p> <p>2 期日 令和4年4月1日から令和5年3月31日 1回 講義90分×6日、見学演習3時間×3日 (春期、秋期2回)</p>	
2 プレパパ・プレママのペアレンティングセミナー (清泉女学院大学看護学部との連携事業)	
<p>妊娠期にある夫婦が、主産後の育児の現実とそれに伴う心理面や生活面の変化を知りイメージすることによって、お互いの出産後の育児についての考えを共有し、一緒に育児を進めるための準備を進める機会とする。</p> <p>清泉女子大学看護学部において石川智恵准教授が開催し、こどもの城が広報担当</p>	

3 長野県立大学健康発達学部こども学科と長野市連携事業		
	<p>長野県立大学健康発達学部こども学科と長野市・長野県立大学連携事業として、「赤ちゃんママのおしゃべり会」を開催する。</p> <p>内容：校内に設置されているプレイルームを活用し、初めてママの交流を促進する。</p> <p>年4回 (令和4年度は、赤ちゃんママのおしゃべり会4回開催)</p>	年4回
4 長野看護専門学校		
	<p>長野看護専門学校母性保健学講座の臨地実習の場として連携。</p> <p>5月 から 9月</p>	
長野市との連携事業		
1 長野市キャリア教育推進事業「赤ちゃんだっこ」		
	<p>乳幼児とその保護者が長野市内の中学校に出向き、幼児とのふれあいを通して、幼児に関心を持つとともに、自分の成長や家族・家庭、幼児の発達と生活について関心と理解を深め、家族や幼児に積極的にかかわることができるようにする。また、これからの生活を展望して、課題をもって家庭生活をよりよくする態度を育てる。</p>	
2 ながの子ども・子育てフェスティバル		
	<p>1 趣旨 子どもを産み育てやすい長野市の実現に向けて、子ども達の健やかな成長を願い、地域で子育てを応援している団体・企業が集い、その想いを共有し、地域・社会が一丸となって子ども・子育てを支えるためのネットワークを形成するとともに、子ども・子育て家庭と支援者がつながる場とする。</p> <p>2 事業案 (1) 支援者間の情報共有のための交流ワークショップの開催 (2) 支援を受けている当事者(子ども・保護者)の声を聴くヒアリング事業 (3) 長野県立大学による「いい育児の日」イベントの共催または参加</p> <p>3 主催 ながの子ども・子育てフェスティバル実行委員会 構成団体として参加(理事長 実行委員長、事務局)</p>	
3 休日マタニティセミナー (長野市保健所との協働事業)		
	<p>1 日 時：毎月第3日曜日(原則)</p> <p>2 会 場：もんぜんぷら座こども広場、</p> <p>3 スタッフ：助産師、管理栄養士等4人</p> <p>4 対 象 第1子出産予定で妊娠20～30週の妊婦とその夫(家族)のべ192組(先着順)</p> <p>5 方法 午前10:00～12:30 16組</p> <p>6 内容等</p>	

<p>・講話 妊娠中の食生活 体験学習「沐浴・新生児の着替え」「抱っこ・授乳姿勢・母乳育児」</p>		
<h4>4 あそびましょう</h4>		
	<p>もんぜんぷら座こども広場「じゃん・けん・ぽん」に出て来にくい東部保健センター地域に出向き、地域密着の保護者の育児支援を保健センター保健師等と共催で行う。</p> <p>1 開催日 毎月第2、4木曜日を中心に月2回</p> <p>2 開催場所 長野市東部保健センター</p> <p>3 対象 0歳から3歳までの未就園児とその保護者</p> <p>4 内容 手遊び・体操、ワンポイントアドバイス</p>	<p>年24回</p>
<h4>5 ふたご・みつご広場</h4>		
	<p>長野市保健所との協働事業、北部保健センターと共催。 多胎児親子向けの遊びの広場を長野市民生児童委員協議会主任児童委員部会のボランティアと運営する。</p> <p>日時 毎月第1月曜日 10時から11時30分 予約なし</p>	
<h3>地域との連携</h3>		
<h4>1 第三地区「サンサン広場」</h4>		
	<p>第三地区まちづくり協議会主催の未就園児を持つ母親のストレス解消するための「子育てサロン」の運営を支援する。また、地域の方々を子育て・子育てボランティアとして育成する。</p> <p>毎月 第2木曜日</p>	
<h4>2 地域との連携</h4>		
	<p>中心市街地を中心に権堂町等地域の行事に積極的に参加する。</p> <p>8月・・・権堂町七夕まつり 2月・・・灯明まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野市権堂イーストプラザ市民交流センターと「リユースマーケット」を開催 ・「ながのこどもわくわくカフェ」の活動として新田町区の各種行事等に積極的に参加する。 ・アップルキッズ(浅川)、はじめの一步サロン(第2地区)に出向き、地域の方と広場を運営する。 ・第1地区子育てサロン 地域に出向き、サロンを運営する。 ・鬮若槻地区住民自治協議会「ママのなんでも相談」へ出向き、地域の方とサロンを運営する。 	<p>開催されたら参加</p>

他機関との連携	
1 長野労働局との連携	
	長野労働局が開催した「子育て女性に対する就業支援事業」における受講者の託児を実施する。 月 1 回

チャイルドライン事業

チャイルドライン	
1 重点事項	
① 「受け手」「支え手」の確保・質の向上に努める。	
② カード協賛企業、賛助会員、団体、に運営資金の協力を要請する。	
③ 募金箱を多くの場所に設置する。	
2 事業実施の概要	
① チャイルドラインながの運営	
<input type="checkbox"/> 電話受付業務 週 2 日 月・水曜日、(祭日、年末年始は休業) 午後 4 時から午後 9 時まで開設 1	
<input type="checkbox"/> 第 21 期「受け手ボランティア養成講座」を開講する。 チャイルドライン専用回線で子どもの電話を受ける「受け手」「支えて」を養成する。 2023 年 8 月から 11 月まで 10 回の講座を実施する。	
<input type="checkbox"/> 「受け手」・・・養成講座受講修了後、受講者の中から選任する。 また、スキルアップを図るための継続研修を開催する。 「支え手」・・・現在受け手として活動している方の中から選任する。 ・・・研修会を開催する。	
<input type="checkbox"/> 運営委員会を開催する。	
<input type="checkbox"/> 全体交流会を開催する。	
② チャイルドライン事務所の運営	
事務局 (3 名) を置き、業務に従事する。	
③ 広報	
<input type="checkbox"/> チャイルドライン事業を広く周知し、行政や地域の方々に理解、支援してもらうため、活動実績やデータの入ったパンフレットを作成し配布する。	
<input type="checkbox"/> 講演会を企画し実施する。	
<input type="checkbox"/> 長野県の子どもに、チャイルドラインすわ・チャイルドラインうえだ・チャイルドライン佐久と連携し、カード・ポスターを配布する。	
④ 財政・渉外	
企業、他団体へ訪問する。募金箱の設置場所を増やす。	
⑤ 長野県チャイルドライン推進協議会の事業及び研修会に参加・協力する。	
⑥ チャイルドライン支援センターの事業及び研修会に参加・協力する。	

*** 特別記念事業 ***

新 こどもの城設立25周年・こども広場開設20周年記念事業	
	<p>当法人ながのこどもの城いきいきプロジェクトは、1998年9月に任意団体「ながのこどもの城づくりを進める会」として発足し、本年度設立25周年を迎えます。また、もんぜんぷら座こども広場じゃん・けん・ぽんは、2003年6月に開設し本年度20周年を迎えます。</p> <p>法人また主たる事業の節目として、記念事業実行委員会を設け、内容を検討し開催します。</p> <p>期日 令和5年2月頃 内容 実行委員会で検討</p>